

サラリーマン脱サラ 起業 ここがポイント

公認会計士・税理士 木村俊治

もちろん、身近にも少なからずあるのかと
な仕事での起業 思います。起業家を含め
も多くなっている。経営者のみなさんとお
話しますと、目安として、とりあえず5年後の
東京オリンピックまでには、景気は良い傾向にあると
考えているようです。また、シニア層の会社員の方の起業も多くなっています。これは将来の
仕事への選択肢として、起業が加えられたことが大きいと思います。とくに、シニア層の会社員の
起業は、本当に社会にとって大切なことです。

誰もが考える

定年までの10年と その後の10年

50代で会社を辞めて起業された方がいますが、会社員の時には生かすできなかった人脈とノウハウ

ウで順調に仕事をされていらないと思います。これまで10年、20年と培ってきた知識・経験をこの、充実しているとの可能性があるからです。定年まで10年近く、い

会社という組織は、課長、部長、役員と、上に生かせる可能性があるので、生かすのが少なく、なってきた。また、今のポジションを維持しようとしても、下からの突き上げがやってきます。多くの会社が過去に採用した人に見合ったポジションを用意できない。それが現実です。そのため、いや応なくポジションの取り合いに陥る中、いままでの経験や知識を生かすことができない役割を担わざるを得ない方を見かけます。本当にもったい



けます。本当にもったい